

こじか荘かわら版



クイズです!

今回の新聞内に  は何匹とんでいるでしょうか?

春炬燵の季節ですな〜!



新年度に向けて

施設長 平林 礼子



地域づくりのために施設に何ができるだろうか、と皆で長年思いを巡らしながら又新たな年度を迎えています。地域の中で、その人らしい生活が続けられるよう、その人の尊厳が保たれる暮らしを支えるんだという思いでこの地の施設として、居宅サービス事業所として歩んできました。地域からお呼びがあれば飛んで行きました。介護予防のこと、認知症のこと、介護保険のこと、栄養のこと、医療のこと、地域の皆さんに経験を積んだ職員がお伝えしました。最近では地域のサロンをそのまま当荘で遣っていただき、好評でした。

今後も地域の皆様に来て頂いたり、できる限り出掛けていきたいと思えます。

今、将来を見据えた国の施策により全ての日常生活圏域に地域包括ケアシステムを構築する方向で動いています。これは高齢者に限定されるのではなく全ての住民にとっての仕組みを目指すものであり、地域に住む多様な主体が地域づくりに参加して其々の役割を担う事によって形になっていくものでしょう。このような社会情勢の中で、今一度地域の中の施設として何が出来るのかを問い直しています。

各分野のスタッフが、もっともっと個別ケアを深めたい、その方の人生にもっと寄り添いたいと思っています。そして地域の方々との繋がりが、地域の力の一翼を担えたらと願っています。

今年度も宜しくご指導ご鞭撻の程お願い致します。

~日常のひとコマ~

通所



手芸はお任せ♪



歯科衛生士さんからお口のお話



至福のひと時

特養



安田小学校児童との交流



満開の下で



ぶらり途中写真

掲示板

退職者の紹介

機能訓練指導員

森久 佐代子 (23年4か月勤務)

大変、お世話になりました。

☆お知らせ☆

新任職員の紹介

施設間異動 子鹿医療療育センターから



看護師 武谷 ルミ

はじめまして。4月からこじか荘勤務となりました。利用者の皆様により楽しい生活を送っていただけるよう、お手伝いが出来たらと思います。不慣れな点も多々あると思いますが、よろしく申し上げます。



他小田貴美子様のお話の演奏

琴と尺八が奏でる和の心。日頃、聴くことの出来ない音色にご利用者は真剣に聴き入っておられました。ありがとうございました。



5・6年生訪問

歌や楽器演奏、自分たちが作った春にちなんだ俳句の紹介。また、鉢植えの寄贈。ご利用者の皆さんも本当に楽しく、優しい表情で過ごされていました。

突撃！ 僕らのこじか荘

地域福祉に密着してきました！

シリーズ最後に紹介するのは「こじか荘居宅介護支援事業所」高齢者の方に住み慣れた家、そして地域で安心して生活していただける地域福祉を担っている、こじか荘居宅介護支援事業所です。今回は私も訪問に同行し、サービス担当者会議を取材してきました！

~インタビュー開始です~

吉舎町にお住まいのNさん(92歳) 要介護度 4
娘さんと二人暮らし。
若い頃は、杜氏をされていました。
30代に両目を失明され、現在に至ります。



- まずは、娘さんにお話を伺いました。
- ①在宅介護で、一番苦労されている事は？
・何と云っても、仕事との両立
 - ②お父さんの介護で大変な事は？
・夜に何度も起きるので、自分も眠れない
 - ③在宅介護の中で、助かっている事は？
・在宅支援、近所からの協力に感謝している

他にも沢山お話を聞かせていただきました。「家では自分の時間を介護に使い、ストレスの発散もなかなか出来ないし、在宅介護に限界を感じる事もあるけれど、この父の家で、住み慣れたこの土地で出来る限りは見てやりたい！」と話してくださいました。

~取材を終えて~

娘さんの人柄を感じる言葉がありました。「外を徘徊する父を見ては地域のみなさんが良くしてくださる。いつも、近所には協力をお願いしているんです。」と。一見、娘さんが頭を下げてお願いされている様に思えるが、私はそうは思いませんでした。娘さんの父親への愛情や住み慣れた家で暮らして欲しいという気持ちが、地域の方に伝わっているのだと感じ、地域の方の心意気も温かいと感じました。認知症の方や高齢者の方が我が家で安心して生活出来る為に、地域との連携があります。その足掛かりを担う、こじか荘居宅介護支援。今回はNさんの取材でしたが、他にも生活しやすい住宅環境の提案や、病院や施設利用などの調整も支援に含まれています。いつも訪問している稲田ケアマネと小玉ケアマネ。「だれもが安心できる在宅介護」を目指し、多職種連携で高齢者やその家族、地域の皆さんの暮らしを支えるために、これからも二人の奮闘が続きます。Nさん、娘さん、取材にご協力いただきありがとうございました。

ひとり一人に合った支援を！

職員紹介



居宅介護支援事業所 介護支援専門員 小玉 寧子



居宅介護支援事業所 支援課長 稲田 かおり

チームケアで在宅支援！

~ケアマネ訪問~



雑談の中にも、「Nさんのその日の体調や支援へのヒントが隠れている」と言う稲田ケアマネ。気取らず、気さくに話しかける姿にNさんも安心され、和やかな中で話されていました。

~サービス担当者会議~



Nさんと娘さんを含め、こじか荘居宅、こじか荘通所、ヘルパー、民生委員での会議。Nさんの生活面での現状と課題を話し合い、Nさんに、より適した支援を模索していく大切な会議です。また、家族の介護への負担軽減や地域との連携も話し合います。

第11弾

こじか荘の職員自慢!

道後温泉駅にて



水木しげる記念館にて

散歩やドライブで子供が興味を持ったもの、疑問に思ったものへの会話、旅行先での自然や歴史、食事等に関した会話もとても楽しく面白いです。いつまで子供が付き合ってくれるのかわかりませんが、このような時間を大切にしたいと思います。

そして、旅先の食事等で感じたこと、参考になったものを、調理の業務に活用していきたいと思えます。

年2、3回家族旅行をしています。ドライブはごく近場を、遠くても広島市内、散歩も近所です。旅行は中四国が中心で泊程度です。私は行き当たりばったりなので、泊まりの旅行は妻が行き先、宿の手配をしており、私は直前まで何も知らないことが多いのです…。

調理員の森です。こじか荘に勤務し始めてから早いもので十年近くになろうとしています。これまでご利用者、職員の皆様のお力添えに感謝いたします。

今回は自己紹介と言いつ事で趣味の話をしたと思います。もともとたいした趣味もなく、家でコロコロが日課ですが、あえて趣味とするなら、子供との散歩、ドライブ、旅行くらいです…。

「趣味悠々旅行」



調理員 森 聖志

ボランティア

3月 2月 1月

ありがとうごさました



ボランティア係り 介護士 森 幸雄

- 17日 鯉谷 美紀枝様 散髪)
- 26日 安田小学校5、6年生様 交流会)
- 27日 鯉谷 美紀枝様 散髪)
- 7日 鯉谷 美紀枝様 散髪)
- 21日 むすび会様 シーツ交換)
- 31日 小田 貴美子様他2名 琴演奏)

俺の部屋

(好評?につき私のコラム連載します^^)

辺りを見回すと木々の新緑もちらほら見え、春という季節をより一層際立たせているように見える。私の春の思い出と言えば、幼いころ親父の手伝いでやっていた田植えの準備。苗を育てる苗床の土を掘りに行ったり、その土を振いに掛けてきめ細かくしたり。まあ、猫の手より多しは親父の手伝いになっていたのである。四〇歳に近くなった私は、最近思うことがある。親父の存在の確かさ、尊敬である。私が物心ついた時から今日まで親には「心配」しか掛けた覚えがない。私の高校時代は学校から七ばらく休みなさいと言われ謹慎を受けた事もしばしばあった。親父に殴られた。

その時は痛さと情けなさしかなく、反抗は出来なかつた。親父は郵便局での仕事を三〇年間勤めあげた。その忍耐力と実直さには頭が上がりません。家族を養うため、そして何より地域の人の愛されて同じ仕事を継続した親父は尊敬できる。私も家庭を持ち、子供を育てていく中で、何かにつかつた時は自分を育ててくれた親父とお袋の姿を思う。思い出は何歳になっても残るもの。互いに尊重し、良くも悪くも思いつく限り、思い出が家族を取り持つてくれる事もあるだろう。「自分の子供にも親の背中を見て育ててほしい」と願う。私においては、まだまだ親父超えは出来ていない。いつになったら安心させられるのか。背中を追っていくばかりである…。

丸田竜士

ワックス掛けについて

5月14日(木)

こじか荘全館でワックス掛けを行います。当日は業者の出入りもありますので、面会は控えていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

編集後記

こじか荘でも新年度が始まりました。私のコラムも最終回! 広報係にも7月号から新しいメンバーが加わり、こじか新聞を作成します!



編集委員 丸田竜士

どうぞ、ご期待下さい!!

○クイズの正解 「ハチは3匹でした!」